

学校生活への適応と主体的な選択を促す
中学校学級活動を進めるための

ガイダンスの機能を生かした
学級活動指導計画案集

平成17年2月9日
岩手県立総合教育センター
教科領域教育室
藤原良治

《 目 次 》

この目次や本文中に記載した参照頁、各学年の単位時間の指導計画案の目次、指導資料などには、リンクを作成してあります。

I 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の推進 -----	1
1 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めることについての考え方 --	1
2 ガイダンスの機能についてのとらえ -----	2
(1) ガイダンスとは -----	2
(2) ガイダンスの機能とは -----	2
3 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めるための指導計画作成 ----	3
◎ 作成の視点と手順 -----	3
◎ ガイダンスの機能を生かした中学校学級活動の指導計画作成のための資料 -----	4
◎ 「題材配列検討シート」を用いて検討した結果（例） -----	6
◎ 「題材配列検討シート」（第1学年） -----	7
◎ 「題材配列検討シート」（第2学年） -----	8
◎ 「題材配列検討シート」（第3学年） -----	9
II ガイダンスの機能を生かした学級活動指導計画 -----	10
1 - (1) 3年間の学級活動の指導計画案（全題材一覧表） -----	10
1 - (2) 3年間の学級活動の指導計画案（各題材の3年間の系統性・発展性の関係） -----	11
2 - (1) 第1学年のガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案 （年度初めのオリエンテーション期間の指導計画含む） -----	12
2 - (2) 第2学年のガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案 （年度初めのオリエンテーション期間の指導計画含む） -----	16
2 - (3) 第3学年のガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案 （年度初めのオリエンテーション期間の指導計画含む） -----	20
3 ガイダンスの機能を生かした単位時間の学級活動の指導計画案 -----	24
◎ 単位時間毎の学級活動指導計画案の構成 -----	24
◎ 第1学年のガイダンスの機能を生かした単位時間の学級活動の指導計画案 -----	25
○ 目次 -----	25
○ 計画案 -----	26
◎ 第2学年のガイダンスの機能を生かした単位時間の学級活動の指導計画案 -----	54
○ 目次 -----	54
○ 計画案 -----	55
◎ 第3学年のガイダンスの機能を生かした単位時間の学級活動の指導計画案 -----	80
○ 目次 -----	80
○ 計画案 -----	81
4 指導資料 -----	103
III 参考資料 -----	110
◎ 学習指導要領に示された学級活動の活動内容例とガイダンスの機能を生かす題材 とのかかわりの一覧表（中学校学習指導要領解説－特別活動編－より）	

1 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の推進

1 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めることについての考え方

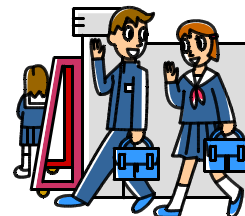
Q 中学校で、学校生活への適応と主体的な選択を促す学級活動を進めるのははどうしてですか？

現在、中学校教育は、不登校や学校不適応、いじめ、人間関係での問題等といった生徒指導上の問題、学習意欲の喪失や自己喪失、選択教科の拡大に伴う適切な選択の在り方や高校中途退学者等への対応といった学業指導及び進路指導上の問題を抱えています。

このような問題の解決の中心的な場は、教育課程の中では、特別活動、特にも学級活動であるといえます。それは、学級活動の特質の一つとして次のような点があるからです。

○学校における基礎的な生活の場であり、学校生活への適応や豊かな人間関係の形成、選択教科や進路の選択など、生徒が当面する諸課題への対応や健全な生活態度の育成を図る活動や指導・援助が中心に行われる場である。
(「学習指導要領解説－特別活動編」 p.26より部分引用)

学級活動の指導の進め方を工夫した結果、新年度当初に見られた生徒指導上の問題が改善されたり、学年が上がるにつれて選択の関心・意欲が高まったりしている事例も報告されてきています。したがって、学校生活への適応と主体的な選択を促す上では、中学校学級活動の進め方を見直し、工夫・改善することが必要であると考えます。



Q 「学校生活への適応」と「主体的な選択」とは、どのようなことをいうのですか？

適応とは、自らが暮らす生活環境に対して、物的関係や人的関係において積極的にかかわってよりよく順応し、精神的にもうまく合致している状況ととらえます。

主体的な選択とは、さまざまな問題に出会った時に、自らのもちうる情報や解決法を基に、自らの意志と責任でより適切な選択や決定をすることととらえます。

このことを踏まえ、「学校生活への適応と主体的な選択」を、次のように考えます。

○一人一人の生徒が学校や学級の生活に積極的にかかわってよりよく順応し、豊かな人間関係の中で好ましい人間関係を形成し有意義な生活を築くようにすること。
 ○学業や進路あるいは自己の生き方等にかかわって、自らの意志と責任でより適切な選択やよりよい自己決定ができるようにすること。
(「学習指導要領解説－総則編」 p.90より部分引用)

Q 生徒が学校生活によりよく適応したり、主体的に選択したりするためには、どのような力を身に付けさせればよいのですか？

「学校生活への適応と主体的な選択」を高めることは自己指導能力を高めることでもあります。このことにかかわる能力として、人間関係能力、感情統制能力、思考能力、問題解決能力、意志決定能力、情報選択能力の六つを挙げることができます。この六つの能力については【表1】のようにとらえるこ

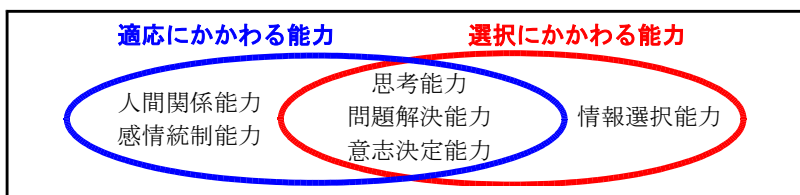
【表1】 学校生活への適応と主体的な選択にかかわる六つの能力

人間関係能力	人とのかかわりを意識的につくる能力
感情統制能力	自分の思い通りにならない状況に陥っても、感情を統制し、冷静に状況を判断する能力
思考能力	他からの指示や知識に頼るのではなく、自分で適切に考えることのできる能力
問題解決能力	自分の保有するさまざまな解決の方法を繰り出して問題を解決する能力
意志決定能力	さまざまな情報の中から、必要なものを選び自信と勇気をもって決定する能力
情報選択能力	情報を選択し、自分の生き方を方向付ける能力

「注」 表中のゴシックは、それぞれの能力の中核となる語句を表す

とができると考えます。

生徒の「学校生活への適応と主体的な選択」における「適応にかかわる能力」及び「選択にかかわる能力」と【表1】の六つの能力との関係については、【図1】のようにとらえることとします。



【図1】 学校生活への適応と主体的な選択にかかわる六つの能力の関係

2 ガイダンスの機能についてのとらえ

Q 「学校生活への適応と主体的な選択」を促すために、学習指導要領に「ガイダンスの機能の充実」が示されたのはどうしてですか？

「ガイダンス」や「ガイダンスの機能」とは何かを含めて解説してください。

(1) ガイダンスとは

「ガイダンス」は、「案内、指導、手引き、学生指導」といった意味であり、学習指導要領解説の特別活動編には次のように規定されています。

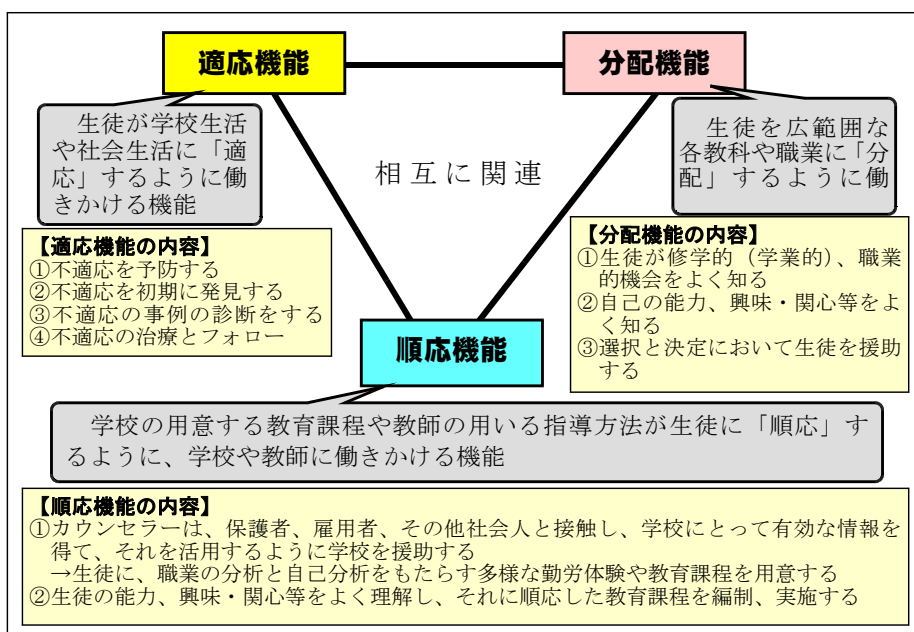
○生徒のよりよい適応や選択にかかわる、集団場面を中心とする指導・援助であり、生徒一人一人を最大限に開発しようとするもの。
(「学習指導要領解説—特別活動編—」p.82)

具体的には、「学級・学校生活への適応や好ましい人間関係の形成、学業や進路等における選択及び自己の生き方などに関して、学校が計画的、組織的に行う、情報提供や案内、説明及びそれらに基づいて行われる学習や活動など」をいいます。

(2) ガイダンスの機能とは

ガイダンスには、「適応機能」、「分配機能」、「順応機能」の三つの機能があり、それぞれの働きや相互の関係をまとめると、【図2】のようになります。

このうち、順応機能はカウンセラーなどが教師や学校へ働きかけるものであり、これがなされて、適応機能と分配機能が作用するという、いわばガイダンスの機能の前提要件となるものです。しかし、三者はあくまでも一



【図2】 ガイダンスの三つの機能

体であり、すべてがセットで作用するものです。

一方、適応機能と分配機能は、直接生徒に働きかけるものであり、機能の内容をみると、適応機能は「学校生活への適応」に、分配機能は「主体的な選択」に合致することが分かります。

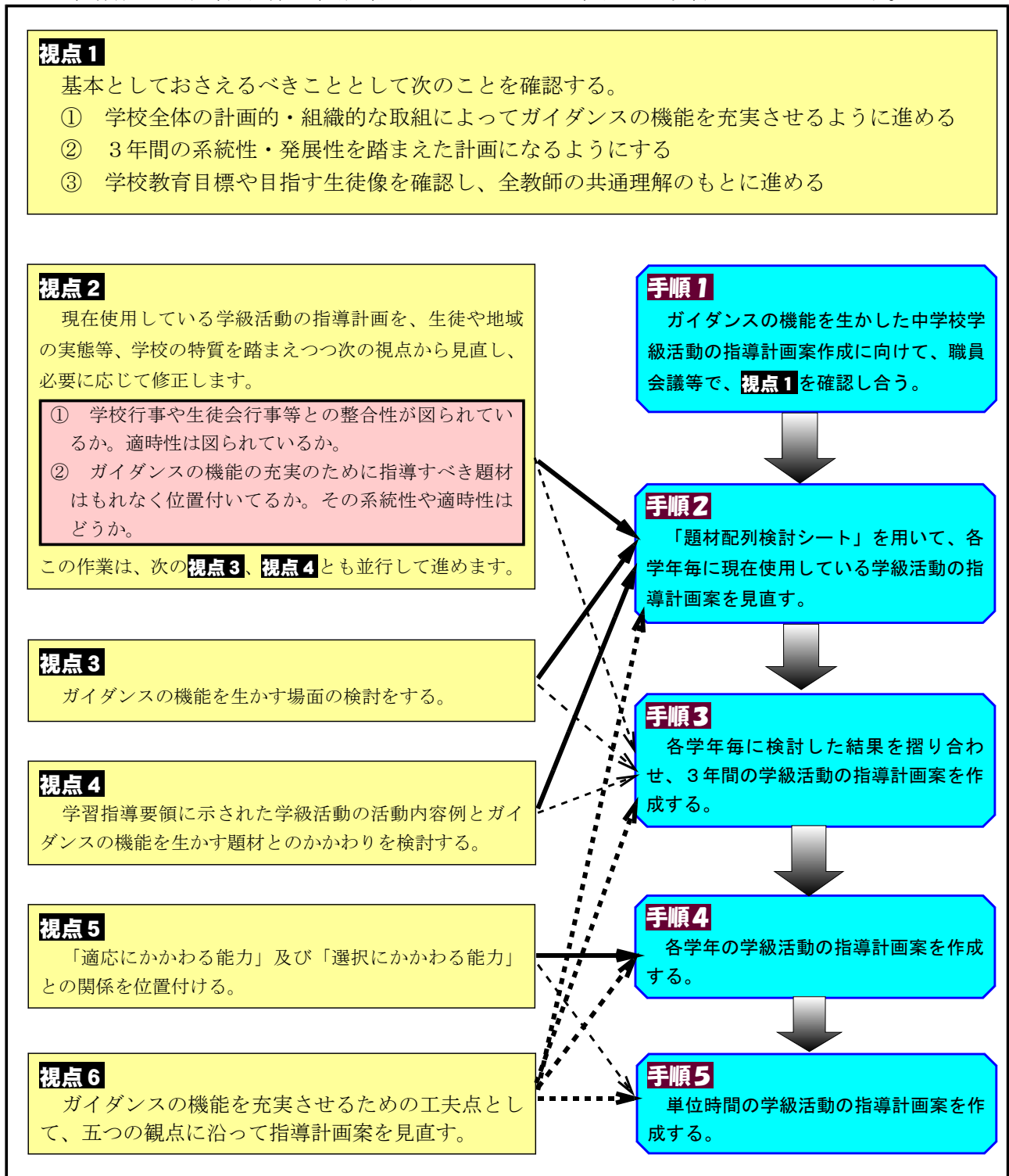
「ガイダンスの機能」がこのような内容を含んでいることから、「学校生活への適応と主体的な選択」にかかわる諸問題の解決手段として、今回の学習指導要領に「ガイダンスの機能の充実」が示されたと考えられます。

3 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めるための指導計画作成

Q 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めるために、ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画をどのような視点と手順で作成すればよいのですか？

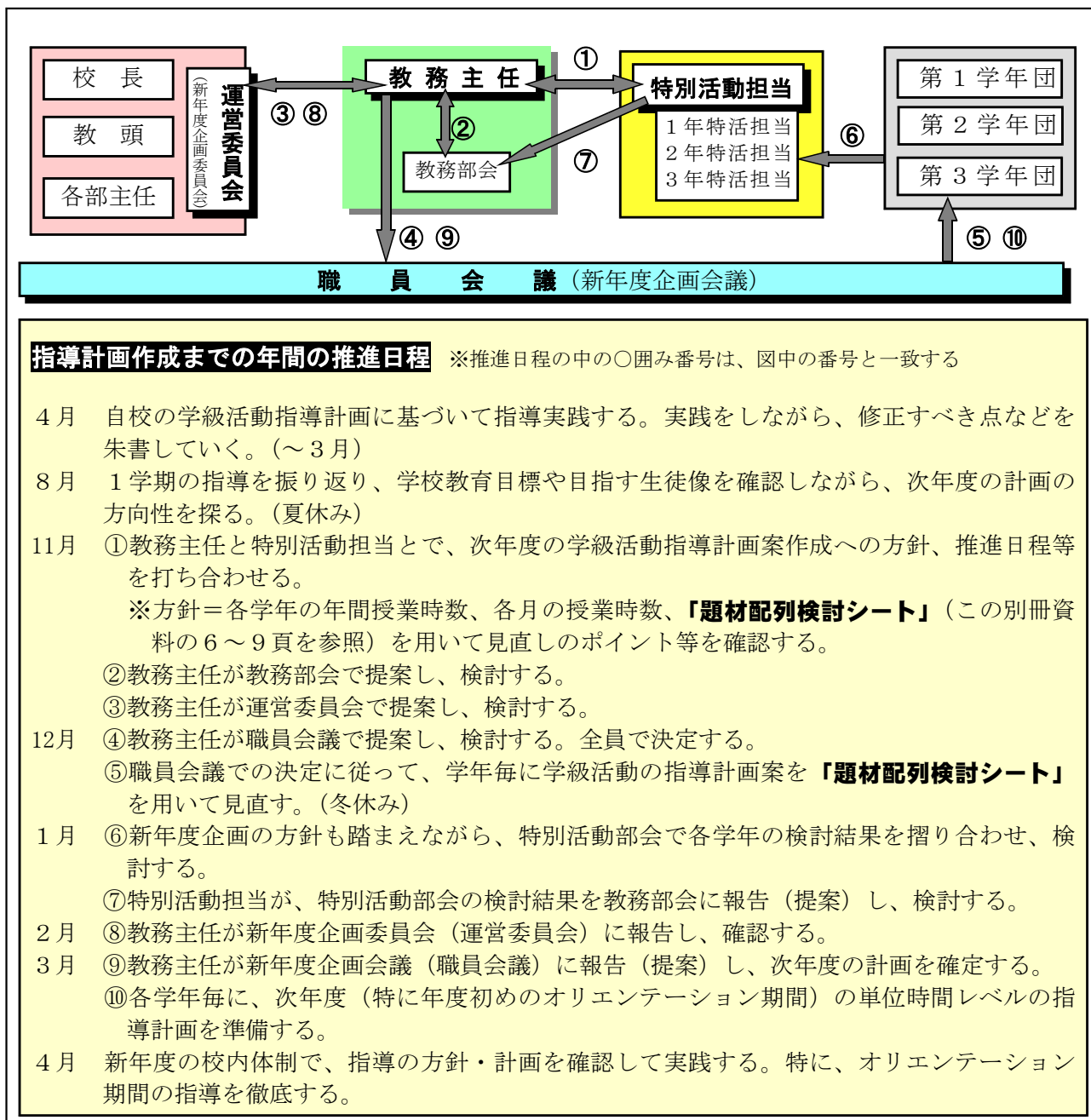
ガイダンスの機能を生かした中学校学級活動の指導計画は、「発表資料」3～5頁の「学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する推進試案」に基づいて作成します。その作成の視点と手順の概略を示すと、下の【図3】のようになります。

作成に必要な資料（**視点1**～**視点6**にかかわる資料）は、4頁、5頁に示すとおりです。なお、作成した指導計画案は、指導実践をとおしながら、修正・改善を加えていきます。



【図3】 ガイダンスの機能を生かした中学校学級活動の指導計画作成の視点と手順

★ **視点1**にかかわる資料



【図4】 校内の組織体制と指導計画作成までの年間の推進日程の概要

★ **視点2**にかかわる資料

「**題材配列検討シート**」 ※6頁で、実際に検討した例で示します。

このような資料もあります!

学級活動の各題材における「解決策や指導の方法」の工夫として、学習指導要領解説－特別活動編－に示されているものをまとめ、この別冊資料の110～113頁に掲載しました。

ガイダンスの機能を充実させる上で参考になります。ご活用ください。

★ **視点3**にかかわる資料

【表2】 ガイダンスの機能を生かす場面

生かす場面		特徴的な事項	どのような配慮や工夫が必要か
生徒が学校生活やそこでの人間関係などによりよく適応する指導において	入学時や新学期開始時期	新生活への期待の一方で環境の変化への不安が交錯し、生徒の精神状態が不安定になる傾向がある。	<ul style="list-style-type: none"> できる限り不安を取り除き、新生活への夢や希望を膨らませるようにする 教師と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係が生まれるように配慮する 生徒自身が学校や学級における諸活動や集団の意義、内容などについて十分に理解し、自発的によりよい生活に取り組むことができるように必要に応じて十分な指導時間を確保する
	新たな学習や各種の学習活動の開始時期	学習や諸活動に意欲的に取り組むことができない要因としては、目的を明確にもつことができなかった場合や、やり方が分からない場合、見通しがもてない場合、人間関係に不安がある場合等が考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> 新たな学習活動や諸活動が始まる前の段階では、左記の点に配慮して事前指導を十分に行い、生徒がこれから始まる学習活動や諸活動に、意欲をもって積極的かつ主体的に取り組むことができるようにする 学習指導や学習活動及び諸活動で使用した資料を整理し、適宜修正を加えて引き継いでいく
選択教科や進路等の選択の指導において	選択教科等に関して	生徒各自が、必ずしも自己の興味・関心や意志に基づいて選択しているとは言い難く、結果的に自ら選択した選択教科の学習に意欲的でない面もある。	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動のねらいや内容及び方法、よりよい選択の仕方や考え方等についての理解を図り、生徒の学習意欲を喚起して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫する 指導の時間を十分に確保するため、学級活動の時間の他に、選択教科等の時間の一部を充てるなどの工夫をする
	進路の選択に関して	進路の問題は、絶えず選択の連続であり、しかも中学校卒業時のみならず一生涯にわたるものでもある。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が自己理解を深め、自己の将来の生き方を考え卒業後の進路を主体的に選択し、積極的に自己実現を図っていくことができるような指導の工夫をする 進路指導にかかわるガイダンスの場や機会が、従来のままで十分であるかどうか、何についてのガイダンスを、いつ、どのような形で、どれだけ行っていくかを吟味する

★ **視点4**にかかわる資料

【表3】 学習指導要領に示された学級活動の活動内容例とガイダンスの機能を生かす題材とのかかわり

学級活動の活動内容	学級活動の活動内容例
(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 アイウ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上
(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること	エオカ キクケ 青年期の不安や悩みとその解決 自己及び他者の個性の理解と尊重 社会の一員としての自覚と責任 男女相互の理解と協力 望ましい人間関係の確立 ケ ボランティア活動の意義の理解 コ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 サ 性的な発達への適応 シ 学校給食と望ましい食生活の形成
(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること	スセソ 学ぶことの意義の理解 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用 タチツ 選択教科等の適切な選択 進路適性の吟味と進路情報の活用 望ましい職業観・労働観の形成 主体的な進路の選択と将来設計

活動内容例の前のア～ツの記号は、「題材配列検討シート」の「検討後の題材」の「活動内容」の蘭の記入において活用します。
この別冊資料の12、13頁、16、17頁、20、21頁の各学年の指導計画案にこれらを位置付けた案を示しました。

〔注〕 **ゴシック**の活動内容例が、ガイダンスの機能を生かせる題材

★ **視点5**にかかわる資料

「適応にかかわる能力」及び「選択にかかわる能力」

※1頁の【表1】、2頁の【図1】を参照してください。

適応と選択の各能力を位置付けた各学年の指導計画案を、この別冊資料の12、13、16、17、20、21頁に示しました。

★ **視点6**にかかわる資料

【表4】 ガイダンスの機能を充実させるための工夫点

ガイダンスの機能を充実させるための工夫点	主にどの計画レベルで検討するか
ア ねらいの明確化	単位時間の計画レベル
イ 適時、適切な場での活動（3年間の中での位置付け）	3年間の計画レベル
ウ よりよい内容（適切な内容）	3年間の計画レベル
エ 効果的な方法（指導方法や活動形態、他の教育活動との連携）	各学年の計画レベル
オ 学校のもつ教育力の発揮（全教員、上級生、卒業生、地域の人材の活用）	単位時間の計画レベル